



Honoring the World's Leading Dentists Since 1920™



International College of Dentists Orientation and Leadership Manual 2023





International College of Dentists

Global Headquarters Office
615 S. Saginaw St., Suite 3008
Flint, MI 48502 USA

Phone: 1.810.820.3087

Email: office@icd.org
Website: www.icd.org

Production by:

Joseph Kenneally
S. Dov Sydney
Chelsea Segren
Crystal Demps

目

ブランドマーク、綱領、革新的な意義	2
はじめに	3
ようこそICDグローバルへ	4
ICDの執行体制	5
委員会 臨時委員会と対策本部	6
国際理事会 国際理事 委員会と対策本部	7
会議	8
国際理事	10
ICDの運営管理	11
ICDの戦略的展開と進捗状況	12
歴史	13
フェローシップ 名誉と褒賞	14
ICDフェローシップについての理解を深めるために	16
フェロー候補者の推薦	18
本会における情報伝達	19
企業とのパートナーシップ	23
グローバル・ビジョナリー基金	25
グローバル事業レジストリ	27
ICD事業指針	28
ICDグローバル教育プログラム	29
成長、発展、連携	31



1920年の創設以来、世界的に傑出した歯科医師の優れた名誉ある組織です™

綱 領

国際歯科学士会（ICD）は、優れた業績及び価値ある奉仕の自覚、そして人道的で教育的な率先性を唱える、世界屈指の名誉ある歯科団体です。

革新的な意義

リーダーシップ： 専門的能力と各自の倫理観を最高水準で維持すること。

自覚： 専門職と世界中の公衆衛生に対する優れた奉仕の精神を自覚すること。

人道主義： 人道的な事業を推奨・支援することにより、口腔疾患の予防と治療のための対策を推進すること。

教育： 世界中の歯科医学の発展と普及を促進することにより、歯科医療の進歩に貢献すること。

国際的且つ専門的連携： 世界中に心の通った交流関係を育みながらも、我々歯科医師が最高の知識を維持できるようなフォーラムを開催すること。

はじめに

国際歯科学士会は、1920年以來、世界の優れた歯科医師を表彰していますTM。本会は、<http://www.icd.org/by-laws/>にある定款（72 ページ）と現行の規則（78 ページ）によって運営されています。円滑な情報交換のために、公式言語として英語を採用しています。

各セクションはそのセクション内の、主に国家ごとの地区に分割することができます。セクション XX は多国籍のセクションで、各リージョンに分割されています。リージョンとは、本会の執行体制においてセクションを形成するにはまだ十分な数のフェローがいない地域のことを指します。

<p>セクション I アメリカ合衆国</p> <p>セクション II カナダ</p> <p>セクション III メキシコ</p> <p>セクション IV 南アメリカ: アルゼンチン、ブラジル、チリ、コロンビア、パラグアイ、ペルー、ウルグアイ</p> <p>セクション V ヨーロッパ: オーストリア、ベルギー、チェコ、クロアチア、キプロス、デンマーク、イギリス、エストニア、フィンランド、フランス、ジョージア、ドイツ、ギリシャ、ハンガリー、アイスランド、アイルランド、イスラエル、イタリア、ラトビア、リトアニア、ルクセンブルグ、マルタ、モルドバ、モナコ、モンテネグロ、オランダ、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、ルーマニア、スコットランド、セルビア、スロベニア、スペイン、スウェーデン、スイス、ウクライナ、ウェールズ</p> <p>セクション VI インド、スリランカ、ネパール</p> <p>セクション VII 日本</p> <p>セクション VIII オーストラレーシア: オーストラリア、ニュージーランド、フィジー諸島、パプアニューギニア</p> <p>セクション IX フィリピン諸島</p> <p>セクション X 中近東: レバノン、ヨルダン、イラク、サウジアラビア、シリア、クウェート、バーレーン、カタール、マスカット、オマーン、アラブ首長国連邦、イエメン</p>	<p>セクション XI 韓国</p> <p>セクション XII チャイニーズ・タイペイ</p> <p>セクション XIII 中国</p> <p>セクション XIV ミャンマー</p> <p>セクション XV アフガニスタン、バングラデシュ、ブルネイ、カンボジア、香港、インドネシア、ラオス、マカオ、マレーシア、パキスタン、シンガポール、タイ、ベトナム</p> <p>セクション XX: リージョン リージョン 21: 中央アメリカ、グアテマラ リージョン 26: リビア、モロッコ、チュニジア リージョン 27: 南部アフリカ: ボツワナ、レソト、マラウィ、モザンビーク、ナミビア、南アフリカ共和国、スワジランド、ザンビア、ジンバブエ リージョン 28: 中央アフリカ リージョン 29: エジプト、スーダン リージョン 30: イラン リージョン 32: 英領カリブ諸島 リージョン 34: 西アフリカ: カメルーン、ガーナ、ナイジェリア リージョン 35: 東アフリカ: ブルンジ、ケニア、ルワンダ、南スーダン、タンザニア、ウガンダ リージョン 36: モンゴル リージョン 37: トルコ リージョン 39: カザフスタン リージョン 40: ロシア リージョン 43: イスパニョーラ: ドミニカ共和国、ハイチ リージョン 50: 予備(その他)</p>
---	---

ようこそICDグローバルへ…

長年にわたり本会は、事務局、スタッフ並びに管理部門、国際理事会、理事会が管轄する委員会、国際的なリーダー等々を傘下に収める（そして世界中すべての国々のフェローとセクションに責任を負う）この組織全体を示す統一した名称について腐心してきました。セントラルオフィス、カレッジ・アット・ラーズ、ワールドワイドカレッジ、はたまた親組織といった表現を使用して呼称するには、少なからずためらいを感じることでしょう。

すべてのフェローやリーダーが地元組織と世界的組織との運営管理の違いや本会に相応しい知名度を把握しておく必要があることは当然ですが、世界的に拡大する歯科産業、国際的な保健機関、既存のパートナー並びに将来のパートナー、協力者、そして支援者との関わりを深めている中で、言葉の一貫性を示すことも極めて重要です。

グローバルという言葉は、現在の、そして将来計画されている交流や展開における私たちの戦略にぴったりと一致していて、すぐにイメージしやすく分かりやすいということが明らかになったことがあります。数年前にグローバル・ビジョナリー基金を創設した際に、**グローバル**という表現が現在のような成功を収めることは既に予想されていたのです。当時、セクションの基金と地球規模の本会が運営する新しい基金とを区別するため、基金の国際的な性格を明確にすることが優先事項でしたが、**グローバル**という言葉を使うことでそのことはしっかり実現することができたのです。

国際理事会、業務執行委員会、国際本部、そして実際のオフィスであれ仮想のオフィスであれ、本会の「グローバル」な事業を遂行するすべての現場の業務・活動中にて使用する本会のロゴ、メール、職務上の署名、スタッフの肩書きには専ら**グローバル**の一語を追加するようにしました。すでにお気づきの方もいらっしゃるかもしれませんが、これらの変更例としては以下のとおりです。:

- 国際本部が発信する情報すべてに使用するロゴにグローバルを追加
- グローバル運営センター
- グローバル運営担当理事；グローバル交流担当理事；グローバル展開担当理事；グローバル広報担当理事
- **ザ・カレッジ・トゥデイ**・グローバルニュースレター
- 国際役員、本会が正式に委嘱している担当者、代表者に言及する場合は、グローバルリーダー

私たちは本会の未来に向かって自信を持って進んでいます、今回の明文化により組織内での理解を深めること、そして私たちのパートナー、仲間、ステークホルダーに対して本会の将来ビジョンが正確に示されることが担保されます。

国際理事会と本会とのパイプ役としてこちらからは、グローバルリーダーやセクションのリーダーの全員が本会の世界的な率先性、プログラム、事業、キャンペーン、尽力、奉仕、委員会、人員について触れる場合には、文書にしても口頭にしても **ICDグローバル**という名称を使用開始するよう要請したいと思います。そして、バーチャルな事務局にしても実際の事務局にしても国際本部のそれに対しては、**ICDグローバル本部**という名称を使用してください。

ICDの執行体制

ICD国際本部: 本会の日々の業務や事務は、事務局長と事務局スタッフによって行われています。

国際理事会: 国際理事会は本会の執行役員会で、本会の運営に関するあらゆる決定権を有します。国際理事会での決定事項と活動内容は、本会の定款及び現行の規則と齟齬が生じないものとします。国際理事会は、定款 7.1 に則って構成されています。

国際役員: 国際理事会の役員は、前会長、会長、次期会長、副会長、会計担当理事、編集担当理事で構成され、就任にあたっては会員過半数の賛成を得る必要があります。

国際委員会: 本会の活動は、常任委員会のほか、国際本部と協働するために設置される臨時委員会や対策本部によって執行されており、業務執行委員会の指揮のもと、定款と現行の規則に則って実施しています。

* 詳細については、定款 7.0 「執行体制」 及び定款 8.0 「委員会」、そして現行の規則 IV. 「執行体制」 を参照してください。

2023 EXECUTIVE COMMITTEE



Ho-Youl Chang
International
President



Argirios Pissiotis
International
President Elect



Ian Doyle
International
Vice President



Keith Suchy
International
Treasurer



S. Dov Sydney
International
Editor



Joseph Kenneally
Secretary General

委員会 (会長はすべての委員会を掌握します。)

表彰委員会

メンバーシップ委員会

定款委員会

選考委員会

財政委員会

企画委員会

臨時委員会と対策本部

渉外委員会

デジタルコンテンツ委員会

ICD オンラインコンテンツ委員会

セクション XX 委員会

国際理事会

国際歯科学士会は、国際理事会によって運営されています。執行役員会は、理事、役員、事務局長、名誉事務局長で構成され、各役員の任期は、会計担当理事（4年間）を除き1年間です。編集担当理事は、国際理事会が任命します。副会長は毎年選考委員会から指名され、国際理事会で選ばれます。会長職については、次期会長が翌年に自動的に引き継ぐことになっています。事務局長は、国際理事会及び業務執行委員会と在職期間について契約を交わすことになっています。国際理事会もしくは業務執行委員会が、毎年必要に応じて国際理事会の役員の中から理事会議長を選出しています。

国際理事会は、本会の定款と現行の規則に基づいて運営され、国際理事はみな平等な立場とされています。毎年1回、9月、10月、11月のいずれかの月に対面形式で開催され、公式文書と業務には英語が使われています。各セクションは、毎年行うニュー・フェローの認証式に合わせて、国際理事を招待することができます。

国際理事

国際理事は各セクションから選出され、年次総会に出席しなければなりません。何らかの理由で出席できない場合は、事務局長に欠席を申請し公式に代理理事を任命することができます。

国際理事は、国際理事会では地元のセクションの代表者として、セクションが検討を求める議案や懸念や提案、その他提言や意思表示等、すべてを代表することになります。さらに国際理事は、理事会のすべての会議に参加し、年次総会の期間中や必要に応じて年間を通じて設置される委員会で活動することが求められます。そして、所属するセクションのイベントや活動についての報告書を準備しなければなりません。この報告書は、年次総会の少なくとも14日前までに事務局長もしくは国際本部に提出しなければなりません。これにより、国際理事全員が会議に先立って互いの報告書に目を通すことができ、時宜に適った議論や追加的な質問をすることができます。

国際理事は逆に、所属するセクションと会員に国際理事会での議論について報告しなければなりません。国際理事会で起きたことや賛否を投じた結果を正確に報告するためには、会議の議事録及び／又は会議の要約が配布された後に報告することが最善です。セクションの役員や会員への報告は、各セクションのフェローが本会と国際理事会の最新情報を得るためにも重要なことです。私たち国際理事会での議論の内容をフェローに伝えることで、フェローにも私たちの活動に参加してもらうことが大切なのです。

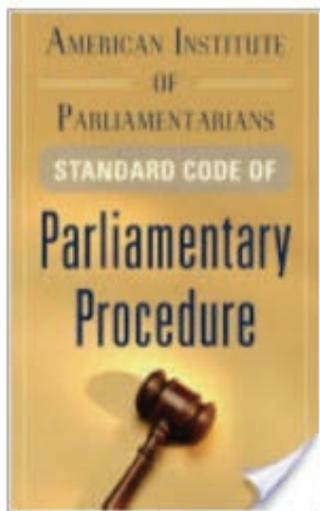
国際理事には、年次総会に出席する意欲と英文や英会話に堪能であることが求められます。各理事は所属するセクションの代表として参加するので、年次総会に対する準備を個々にしなければなりません。また、本会が発出する書面での出版物と電子出版物の双方に精通していなければなりませんし、本会の歴史、組織構造、使命、会員資格、執行体制などについてもよく知っておく必要があります。

委員会と対策本部

年間を通じて理事会の仕事は、さまざまな委員会や対策本部が実施しています。業務執行委員会と国際本部は、各委員会の活動をモニターしてします。常任委員会にはそれぞれ名前が付けられ、それぞれの任務は定款に明記されています。毎年、会長が各委員会に指示したり任務を課したりしています。また、特別な事業や任務のためには、臨時委員会や対策本部を任命することもあります。委員会の委員長とメンバーは、このマニュアルに記載しています。（訳者注：当該名簿は割愛しています。）新たに特別な委員会の設置を希望する理事は、次年度の計画としてその旨を次期会長に伝えることになっています。

会 議

本会が開催する会議や本会のために開催される会議には、米国議員基準法会の議員規則が規定しているような業務上の規範が求められます。この規範が収載された冊子は購入が可能です。また、オンラインでのダウンロードも可能です。



https://books.google.com/books/about/American_Institute_of_Parliamentarians_S.html?id=ApXszH2ff2YC&hl=en

議院規則一覧表

(アリス・スタージスによる議院規則標準規格に基づく。)

優先順位順による主な動議：

私は～したい：	発言：	割込み可能か？	時間が 必要か？	議論の余地があるか？	必要な票数	コメント
この会議を終らせたい	休会することを提案します	非	是	条件付きでは	過半数	時間又は休会の妥当性に限り討議
皆に休憩を取らせたい	休憩することを提案します	非	是	条件付きでは	過半数	時間又は休憩の妥当性に限り討議
理事会の安全性、誠実性又は権利に関する問題に対応したい	権利に関する議題を挙げます	是	非	非	不要	部屋が火事であるとか他のメンバーの発言が聞こえないといったことを報告するために活用。個人的な意見には禁止
この議案を採決せずに廃止したい	議案を保留します	非	是	非	2 / 3	一旦保留された決議案は、永久に廃止
この動議や議案について話し合いたくない	議決を要求します	非	是	非	2 / 3	投票で賛成された場合、理事会は議論を継続せずに直ちに議案を採決すること
この議案について話し合う時間を増やしたい／減らしたい	各自の発言時間を [] 分に制限／延長することを提案します	非	是	条件付きでは	2 / 3	総時間や制限の妥当性に限る
この件については後で話し合いたい	議案を [] まで延期することを提案します	非	是	条件付きでは	過半数	延期時期又は延期の根拠に限る
この問題を理事会ではなく委員会に任せたい	この問題を [] 委員会に付託することを提案します	非	是	条件付きでは	過半数	付託の妥当性、委員会の特定及び委員会への指示に限る
議案又は動議の文言を変更したい	動議を [] という文言へ修正することを提案します	非	是	通常どおり	過半数	議論の余地のない動議の修正は不可
検討すべき事業項目を紹介したい	[] について提案します	非	是	是	過半数	これを基本的で主要な動議とすること
私は～したい：	発言：	割込み可能か？	時間が 必要か？	議論の余地があるか？	必要な票数	コメント
前回の会議での決定事項を変更したい	前回の会議で決定された [] を [] に修正することを提案します	非	是	是	元の動議と同様	遡及は不可
今回の会議での決定事項を再検討したい	[] を再検討することを提案します	時々	是	条件付きでは	過半数	発言中の割込みは不可。再検討の根拠に限り討議
過去の決定事項を完全に封印したい	[] に関する動議を撤回することを提案します	非	是	是	元の動議と同様	遡及は不可
規則が許諾しないことを決定したい	[] に関する規則を一時停止することを提案します	非	是	非	2 / 3	政府の法律や組織の定款は一時停止不可
非公式に問題について話し合いたい	このことは非公式に検討することを提案します	非	是	非	過半数	グループが新たな話題への準備が整うまで又は正式な決議が導入されるまでは有効
規則の錯誤や違反を指摘したい	問題を指摘します	是	非	非	不要	
より多くの情報を得たい	情報について指摘します	時々	非	非	不要	情報を提供するのではなく、情報を要求するためだけとする。直ちに情報が必要な場合は発言者への割込みが可
動議を撤回したい	動議を撤回します	是	非	非	不要	動議が支持された場合、理事会の同意を得てのみ許可されること
部分的な投票を行うため議案を分割したい	分けて採決するようお願いします	非	非	非	不要	議長が要求の是非を判断すること
挙手又は投票用紙で採決したい	採決による議決を求めます	是	非	非	不要	通常は発声投票で結論が出ない場合に採用すること

国際理事 — 義務及び責任の概要

グローバルな ICD リーダーシップの発揮

- 国際理事会は、グローバルな視点から世界中の組織全体にとって有益な決断をしなければなりません。
- 国際理事は、自分というたった一人の人間が、世界中の多くのフェロー達を代表しているのだということを、深く認識していなければなりません。
- 国際理事として業務を執行するにあたり、予め ICD の歴史、慣習、伝統を熟知していなければなりません。

理事会への出席 - 理事職への参加

- 国際理事は、年次総会に参加しなければなりません。ただし、事務局長に事前に欠席届けを提出し受理が認められた場合は、代理人の出席が可能です。
- 国際理事は、国際理事会や委員会に積極的に取り組まなければなりません。国際理事会の事業や率先力を支えなければならないのです。
- アイディアの提案や率先力を示すことが、本会の改善につながります。

本会での情報伝達における国際理事の役割

- 国際理事は、年次総会での会計報告及び事業報告のために、各セクションでのイベントや活動の年次報告書を提出しなければなりません。
- 国際理事は、国際理事会での決定事項を自身のセクションに報告しなければなりません。
- 国際理事には、自身のセクションに対して、現地での ICD とフェローに関するニュースを編集担当理事兼国際交流担当理事のドブ・シドニー (sydney@netvision.net.il) 又は事業運営担当理事のチェルシー・シーグレン (chelsea@icd.org) に提出するよう促す役目もあります。

セクションでのリーダーシップの発揮

- 国際理事は、国際理事会においては自身のセクションの権益を代表することになります。
- 国際理事は、地元セクションにおける入会状況の推移を注視するとともにそこに関与しなければなりません。また、ニュー・フェローのオリエンテーションやすべてのフェローが積極的に会に参加するよう促さなければなりません。
- 国際理事は、国際理事会が求める業務上及び財務上の責務をセクションが果たせられるよう、セクションの会長と事務局長をサポートしなければなりません。
- 国際理事は、国際理事会のメンバーが自身のセクションを訪れたり、セクションに質問したいときの連携役・親善大使役としての役目も担っています。
- 国際理事には、国際本部が自身のセクションに対して報告書やその他の情報を求めた際には、セクションがしっかり対応できるよう支援することが求められます。



ICDの運営管理

ICDの執行体制 – 国際理事会、セクション、リージョンにおける運営管理ガイドライン

国際理事会（IC）は、ICDの執行体制における中心的な機関です。年間を通じて活動している業務執行委員会（EC）を代表して、ICは毎年開催されています。ICは、ICDの国家を超えた均一性、有用性、統率性を維持することを責務としています。ECでは、セクションやリージョンの執行部がそれぞれの責任をしっかりと果たしているかを確認しています。ECは少なくとも四半期ごとに会合を開き、本会の率先力や政策が実現されているか、また必要に応じて修正されているかを確認しています。さらにECは、セクションやリージョンからの提言や要望、特に国際的な性質のものについて精査したうえで、対応しています。

国際理事会は、本会に属する下部組織、セクション、リージョン等が指定団体として国際的な事業を行うことを、公式に認可しています。セクションとリージョンは、本会の定款に則って編成されます。ICD憲章には、以下のガイドラインが関係者によって合意されていることが明記されています。

国際理事会の責務：

- 国際理事会は、セクション及びリージョンに対し、各国におけるICDの公式加盟団体である権利、フェローの資格を有する歯科医師のICDへの入会を認可する権利、そして現地でICDを代表する権利を供与しています。
- 選任された国際理事は、セクションとリージョンの権益を代表することになります。
- 国際理事会は、あらゆる情報伝達手段にて、セクション、リージョン、フェローのニュースを公開します。
- ICDは、世界中の歯科医師の中から、その実績と歯科領域や公衆への貢献度によって資格があると認められた人だけを会員としています。
- **ICD国際本部**は、5人の役員と世界各地にいるグラフィックや技術に長けたスタッフとでチーム構成されたバーチャルな運営部署のことで、国際本部の役員スタッフには、事務局長、事業運営担当理事、国際交流担当理事、渉外調整スペシャリスト担当理事がおり、リモートにて共同作業に当たっています。この部署の全体制によりICDの役員やフェローを支援することが可能になっています。また、運営センターは、事業運営担当理事によって管理され、米国ミシガン州から本会の日常業務を行っています。運営センターでは、フェローや一般の人々からのメンバーシップ、財務、その他通常の[問合せ](#)にも対応しています。

セクションとリージョンの責務：

- フェローの入会状況と財務状況を含む**最新のデータベース**を常にアップデートし、少なくとも年に一回は、ICD国際本部に電子データとして提供しなければなりません。
- ニュー・フェローのための認証式を、対面形式もしくはオンライン形式で、年に一回又は国際事務局長が認める期間で定期的に開催します。
- 教育、専門的なスキルアップ、人道的、社会的な目的のために、フェローが一堂に会する年次イベント、業務会議、オンラインプログラムを開催します。
- フェローのニュース、イベント、業績、率先性に関する**年次報告書**を、*ザ・グローブ誌*の編集担当理事と国際本部に提出します。
- 教育的・社会的な理由で、フェローが集まる**年次イベントや業務会議**を開催します。
- セクションが負担する国際本部年会費の取扱いについては、第1四半期に全額を支払わなかったセクションは、そのセクションの国際本部年会費総額の33%を、以下のスケジュールに従って本会に支払うことになっています。第1回分割払いは毎年4月30日までに、第2回分割払いは毎年6月30日までに、第3回分割払いは毎年11月30日までに、それぞれ支払う必要があります。執行役員会は予算に基づいて運営され、銀行に当座預金口座を保有しています。
- セクションXXリージョンについては、ICD国際本部が毎年彼らと連携して、**国際本部年会費**を直接徴収しています。

- 各セクションは英語に堪能なフェローを国際理事として選出し、国際理事が年次総会に出席する費用を資金提供しなければなりません。
- セクションとリージョンは、ICD の目標と使命を果たす**プロジェクト**（歯学教育、人道的な口腔ケアプログラム、リーダーシップ、国際的貢献などなど）を支援します。
- 本会の長期的な安定のために、許容可能な範囲で**現役会員**の割合を増加させます。

ICD 戦略的展開と進捗状況

2018 年の終わり、業務執行委員会（EC）は、100 周年を目前にしたこの時期に組織としての方向性を明確にした上で、次の 100 年を迎えるためには本会の戦略プランを更新する必要があると判断しました。ICD は名誉ある個人の小さなグループであったのが、世界各国 122 の組織、何千人ものフェロー、多数の国際的な事業、そして現在も拡大中のグローバル・ビジョナリー基金を擁するまでに成長してきました。故ベティ・マッケイグ元会長が率いた EC は、戦略計画の中核グループとして機能し、目標や目的を更新しながらも理事会や委員会を巻き込んで事業を推進する役割を担っていました。

2019 年度の国際理事会での戦略会議では、計画された 4 つの目標について幾つかのプレゼンテーションが行われ、その意図と目的が説明されました。また、「Letter From the Future ICD President of 2024（2024 年度の ICD 会長からの手紙）」を発行し、本会の 5 年後の姿と、そのために戦略プランがどのように役立つかについて解説しました。国際理事会は、新たに更新された戦略プランを正式に承認し、今後は本会のプログラム、率先力、業務執行、国際交流におけるすべての計画と実施のために重要なツールとして活用していくこととなります。

更新された戦略プランの一環として、ICD 綱領と革新的な意義は、本会の特徴、目標、目的をより正確に反映するよう修正されました。ICD のメッセージが世界中一貫して統一されるように、本会の綱領と革新的な意義を情報や出版物に収載する際は、すべてのセクションで同じ文言にて表記する必要があります。

以下は、新たな戦略プランの 4 つの目標です。

目標 1

本会は各セクションに働きかけ、フェローにふさわしい仲間を最大限に発掘・推薦し、現在のフェローの定着率を向上させます。

目標 2

本会は、他の国際的な医療機関団体との戦略的提携を強化しながら、人道的・教育的プロジェクトへのフェローの参加を最大化することで ICD の国際的で人道的な足跡を残します。

目標 3

本会は最新の通信技術を導入し、フェローだけでなく外部の個人や組織との連携も強化します。

目標 4

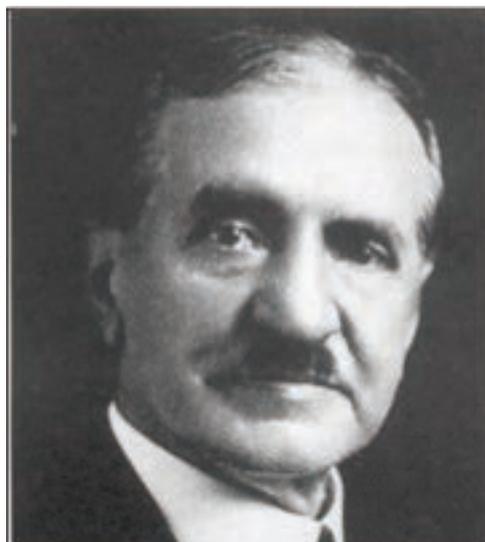
本会は、未来に繋げるための優れた運営と財政的な責任を果たしていけるような文化を創造します。

歴史: 学士会の創設者

国際歯科学士会は、1920年11月に東京で開催されたルイス・オットフィ先生の送別会で草案されました。オットフィ先生は、フィリピンと日本で23年間歯科医師として従事した後、米国に帰国しました。送別会で同席した日本の奥村鶴吉先生は、オットフィ先生とともに歯科専門職における進歩を研究し、その情報を世界各国に配信するための国際組織を設立することで意気投合しました。その後数年間かけて後の本会に関する細かな内容と組織構造が議論され、1928年にワシントンDCで法人化されました。



奥村鶴吉先生



ルイス・オットフィ先生

本会は、以下の目的のために結成されました：

可能性を認識すること

歯科医療の技術と科学を進歩すること

功績ある奉仕を称えること

1930年7月22日、コロラド州デンバーで、アメリカ歯科医師会との共同開催にて最初の集会が開かれました。当時の会員数は総勢266人で、174か国の州や県の代表者が集いました。現在、会員数は12,000人を超えています。1931年に会則が採択され、各国のセクションでそれぞれ細則を追加する際の定款も規定されました。上部機関である本会と相反しないこととされたのです。1938年、本会はいよいよ任務開始の決議を採択しました。そして1939年には、ジャスティン・タウンナー先生によって「Fellowship in the International College of Dentists」のイニシャルであるF・I・C・Dを象り、組織の純粋さを表すために金で鑄造された「College Key」がデザインされました。

1947年に再編成されるまで、本会の業務は米国セクションが担っていました。公式に発刊されている年次ニュースレターは、1985年に「ザ・グローブ」と改名されました。そして現在、世界本部事務所とも呼ばれるICD事務局が本会の日々の活動を担っています。

さらに詳しい歴史は、ICDのホームページwww.icd.org内の「About the College」に記載しています。また、奥村先生の歴史的な映像は、同ウェブサイト内の「Multimedia Presentations」に記載していますし、以下のリンクからも直接視聴することができます。<https://youtu.be/aRSp9akw9Ug>

フェローシップ 名誉と褒賞

メンバーシップ - フェローシップの適正基準については、現行の規則を参照してください(78ページ)

- **ICDフェローシップ(FICD)**は、本会から授与される最初の名誉です。私たちの基礎となる名誉であり、組織の会員資格を明確化するものです。ICDフェローシップは招待制で、自身の職域において卓越した貢献をし、奉仕の精神を自覚している人にのみに授与されます。
- **ICDマスター(MICD)** 本会に際立って卓越した奉仕をし、清廉で俊逸な業績を有する現役フェローや終身フェローに与えられる最高の会員資格です。マスター・フェローには、セクションの業務執行理事会、財務理事会、国際理事会での、勤務実績が累積で最低10年間必要です。また、現役としてのフェローシップを少なくとも15年間維持していることも条件とされています。ICDマスターの授与は、極めて希少価値のある名誉とされています。
- **終身フェローシップ** 生涯を通じて本会に貢献したフェローとマスターのうち、年齢や身体的な理由により身体活動や収入に限界が生じた人に授与される特別な権利です。業務執行理事会やセクションの執行役員会が定めた要件を満たして、初めて終身フェローシップの資格を得ることができます。歯科における臨床、研究、行政、教育の場から退職したフェローのうち10年以上現役のフェローであることが、終身フェローシップの資格を得るための条件です。
- **名誉フェローシップ** セクションの業務執行理事会及び執行役員会は、本会のメンバー以外の個人（歯科医師である必要はありません。）に名誉フェローシップを授与することができます。歯科医学への顕著な貢献や歯科専門領域の振興に貢献した人が対象とされています。

褒賞制度 - 本会の種々の賞に推薦する際の手順については、現行の規則を参照してください（78ページ）

- **功績賞** この賞は、ICDへの奉仕や地域でのボランティア活動に時間と才能を惜みなく寄与したフェローへの、感謝の意を表す賞です。この賞は国際会長と事務局長から、あるいはセクションの役員から授与されますが、生涯にわたる奉仕が認められたことを意味しています。
- **会長賞** この賞は、国際会長の意向や国際理事の要請により授与され、本会とともに歯科専門領域もしくは地域社会のいずれかで、優れた実績、類を見ない業績や貢献をもたらしたことを表彰するものです。授与は1回に限られますが、本会の使命に沿ったものとして贈られます。
- **功労賞** この賞は、本会や社会への長期にわたる卓越した奉仕を表彰する、いわば終身功労賞ともいえる賞です。ICDへの積極的な奉仕や寄付を通じ、本会に長年貢献したとされる熟練したフェローと著名なフェローに贈られます。また元会長、役員、業務執行理事会のメンバーといった、本会にとって重要な役割に従事することで奉仕したフェローも対象とされています。 **訳者注:この賞の初代受賞者は、小林菊生マスターです。**
- **名誉賞** この賞は、国際理事会のメンバーとして特に本会の進歩と功績に貢献し、卓越した奉仕が認められた人がその候補となります。国際理事会の引退後、その人が生存中に認定されます。この賞は、通常期待されるレベルを超えた業績と貢献を表彰するものです。
- **オトフィー・奥村賞** この賞は、ICDのフェローに授与される賞の中で最高の名誉です。毎年贈られるものではなく、生涯にわたるICDへの多大なる貢献が認められて贈られるものなのです。この賞の候補者は、20年間以上フェローシップを保持し、すべての役職において本会への卓越した奉仕が履歴として残されていなければなりません。その行動と活動を通じて本会の地位を大幅に高めたフェローだけに贈られる、とても希少で特別な名誉のある賞なのです。要件：候補者は、個人格のフェローです。推薦者は、最終的な決議が行われる理事会に参加しなければなりません。また、最後に本会やセクションの幹部レベルに勤務してから3年が経過するまではこの賞の対象とはなりません。同様に、本会やセクションに有給で勤務するフェローは、その雇用から3年が経過するまでは賞の対象とはなりません。あるセクションのメンバーにこの賞が贈られた場合、そのセクション自体が次の3年間は候補の対象外となります。

FICDイニシャルの使用

FICDは、「Fellow of the International College of Dentists」の頭文字での略語です。フェローは誰もがフェローであることに誇りをもっており、本会はこのことを同業者や一般の人々に周知することを奨励して

います。他の人々にフェローシップを知ってもらうことは、私たちの組織への意識を高めることにもつながります。「Fellow of the International College of Dentists」の文言を、メンバーのレターヘッド、名刺、電子的な通信文書、ハードコピーの文書類、ニュースレター、履歴書などに使用することはとても効果的です。歯科専門職域から贈られた名誉を掲示することができるからです。「Fellow of the International College of Dentists」の文言に関しては使用制限*がほとんどないため、是非、お勧めします。綴りは上記のとおりです。本会から入手可能な公式のグラフィックデザインや素材をできるだけ尊重して使用してください。

***使用制限**：これらの表記を、商業目的や患者の直接的な誘引のために使用することはできません。また使用する場合は、本会のセクション及び地域の歯科医師会の倫理規定に準拠し、然るべき規制当局の規則も遵守しなければなりません。学位の取得と誤解されるような無秩序な*使われ方をしている「FICD」を、本会は容認していません。各自の学士号のイニシャルに「FICD」のイニシャルを併記するのは、職域内での用途のみに限られています。患者や一般の人々が関与している場合には、適切ではありません。

ICD フェロースhipについての理解を深めるために

国際理事会は、ICD フェローに以下の特典を提供します：

- ICDフェローは、世界最高峰の名誉ある学会員であることを示すために、名誉学位である「F. I. C. D.」というイニシャルを職務上標榜することができます。その他、ICDの「キー」や「ロゴ」などのシンボルも、許可された用途の範囲内で使用することができます。
- ICDフェローには、本会の出版物である「ザ・グローブ」、「ザ・カレッジ・トゥデイ」、その他の電子通信情報をお届けします。
- フェローには、厳かな **ICD フェローのサーティフィケート**をお贈りします。このサーティフィケートには黄金色の本会公式印が貼られており、ディスプレイするのに最適です。認証式では、ICDのシンボルである金色の「キー」が授与されます。このキーは黄色と緑色が特徴的なリボンに結ばれていて、ICDの公式行事ではこのキーと**フェロースhip・ピン**とを併せて着用することになっています。
- フェローは基本的に全員が、オンラインで公開されている**フェロー名簿** (www.icd.org/fellow-directory/) に掲載されます。この名簿から世界中のICDフェローを検索することができ、一般にも公開されています。
- フェローの歯科医院のホームページは、フェロー名簿から直接リンクさせることができます。
- フェローは、ICDという世界的な歯科医師団体に、皆同じ地位、同じ立場の仲間として参加することになります。フェローは、ICDのネットワークの一員であることを誇りとし、またその権利を発揮して歯科教育や人道的な口腔ケアといった世界的な事業を支援することができます。フェロースhipは、ICDの人道的支援を推進しているのです。
- フェローは、本会にふさわしい人をフェローに推薦する権利と責任を有します。推薦は、ICDのホームページから直接行うことができます。

フェローにとってのICDメンバーシップの価値

ICDは歯科医師のための国際的な名誉あるリーディング団体であり、その名は世界中に知れ渡っています。「名誉ある団体」であることは広く認識されています。歯科医師であればだれもが入会できるというわけではなく、招待されるに値する歯科医師しか入会できません。入会には一定の基準を満たす必要があり、宣誓をする必要もあります。フェローは選ばれた人たちであり、このことは自らの臨床にプラスとして作用することでしょう。それは、患者が名誉ある歯科団体に所属している歯科医を選びたいと思うのは、当然のことだからです。フェローはICDのサーティフィケートを掲示して、患者や地域の人々にICDの会員であることを知ってもらいましょう。フェローはICDから発信された情報やICDのロゴを、自身のコミュニケーションツールやソーシャルメディアに活用することができます。その結果、フェローの患者はICDのホームページを参照し、私たちのことや私たちの活動について知ることになるでしょう。きっと自分の主治医が招かれてこの権威ある一流の世界的組織のメンバーとなっていることを誇らしく思うことでしょう。**フェローのうち、本会と良好な関係にある者だけが、これらの特典を利用できることに留意しましょう。**

フェロースhipの価値に関する文書

以下の文書は、新規の勧誘と既存会員の継続用で使用するためにすべてのセクションに配信することが2022年の理事会で承認されました。

- **フェロースhipの価値** (フェローの患者用)：この証明書は、フェローの患者を対象としており、主治歯科医師がICDのフェローであることの重要性を伝えるものです。フェローが使用する際は個々にカスタマイズして、診療所に掲示したり、診療所のホームページに掲載したりすることができます。善良なフェローのみが使用することができます。国際本部から入手可能です。
- **フェロースhipの価値** (一般用)：この証明書は、セクションのリーダーがニューフェローを招聘する目的、失効したフェローや会費滞納中のフェローに働きかける目的、またより一般的には、現役フェローの誇りを高める目的で使用することができます。

- **フェローシップの価値**（国際的な市民用）：この証明書は、ICDのフェローシップの意味と具体的メリットをより詳細に伝えるものです。セクションのリーダーが新規採用や現役会員の維持の目的で適切だと思われる場合にも使用することができます。

フェローが本会に対して負っている義務

- フェローは本会との良好な関係を維持するために、本会の会費を滞納していないこと、本会及び自国の規制当局から懲罰を受けていないことが義務付けられています。
- フェローは、フェローシップに適格な人を推薦し、ICDの影響力と組織力を強化しなければなりません。
- 略称「F.I.C.D.」、ICDフェローのサーティフィケート、ICDのロゴ、そしてICDキーが本会の財産であり、本会とは良好な関係にないフェローや既に退会された歯科医師がこれらを使用することは一切認められないことを、フェローは深く認識しなければなりません。

フェロー候補者の推薦: 推薦の活性化

今年、ICDは創立 100 周年を迎えますが、2020 年のこの特別な記念行事に参加できるよう、ICD フェローシップにふさわしい候補者を今こそ発掘する絶好の機会です。各セクションの役員には、特に今年はフェローが一丸となって「名誉を分かち合い」、ネットワークを活性化して新たなフェローを推薦するよう、お願いします。

進 化

1920 年 11 月、日本歯科医師会会長の奥村鶴吉は、23 年間にわたりフィリピンと日本で従事したルイス・オットフィ先生の名誉を称え、送別の晩餐会を催しました。この晩餐会こそ、国際歯科学士会 (ICD) 構想の生みの親でした。世界中から選ばれた歯科医師が、それぞれの国で行われている歯科医療の情報を共有することが企画されたのです。当初の構想では、世界各国から 300 人以内の歯科医師を集める予定でした。1929 年には、162 の国、州、地域から 250 名の歯科医師が参加するまでになり、1929 年の理事会では、希望する歯科医師全員に会員資格を拡大することが決定されました。

ICD が設立されてこの 100 年、フェローシップに対する考え方は、常により良い形に変化し続けてきました。2018 年メンバーシップ委員会の委員長として発言させていただくと、昨年は、「どんな人がフェローにふさわしいのか」という命題について、各セクション間に哲学的な相違点があることが露呈しました。「世界をリードする歯科医師を称える」という共通の目標に向かって進化していく中で、各セクションはそれぞれ異なる地点にいたのです。フェローの数を増やせば、ICD フェローシップの意義が薄れるといった懸念がよく指摘されます。このような懸念については、1929 年の理事会でも確かに議論されました。

今後 100 年にわたる ICD の歴史の中で、ICD フェローシップのコンセプトは議論され続け、時代の推移とともに変化していくことでしょう。テクノロジーがコミュニケーションとコラボレーションの新しい手段を実現化し続ける中、私たちが職域や地域社会の中でリーダーシップを発揮する機会は、想像を絶するほど変化していくことでしょう。

数字が意味するものとは？

数字そのものが、本会や理想的なメンバーシップの在り方を決定づけるわけではありませんが、もし、フェローに値するリーダーシップを真に発揮している歯科医師だけを限定的に推薦することに努めたならば、各国の登録歯科医師に占めるフェローの割合は常に小さくなるはずですが、2018 年の理事会では、各セクションでの現在の割合を比較したところ、0.1%未満から 4.7%までのばらつきが見られました。このように、各セクションでフェローである歯科医師の割合にばらつきがあるということは、現在、セクションが新しい候補者を推薦する際の審査基準が異なっているということを示しています。

本会の目標は、世界最大の歯科団体となることではありません。しかし、私たちがセクションと協力してフェロー候補者の発掘と推薦を強化しつつも、「ふさわしい仲間を最大限に評価する」という ICD の使命に常に真摯に向き合えば、本会は健全で望ましい方向に成長し続けることと思います。

潜在する人材

本会の現行の規則には、ICD フェローシップの対象選考に関するガイドラインが明示されています。言うまでもなく、私たちは、誠実でリーダーシップがあり、奉仕の精神が永続して宿る歯科医師を求めています。奉仕の精神とリーダーシップは、学術界、歯科医師会、ボランティア活動、地域社会活動、はたまたその他の活動において見つかるかもしれません。フェローにふさわしいにもかかわらずまだ認定されていない歯科医師を積極的に探し出すようお願いします。

過去 5 年間の理事会では、会員数の拡大について相当な時間を費やして議論されてきました。障害を特定したり、最善策を共有したり、文化の違いを認識したり、統計を分析したりといったことに時間をかけました。これらの情報は、すべて閲覧が可能です。

https://www.dropbox.com/sh/uha5uxkegg8fju5/AACP-2JU9R4FgR2K_rzwYOsxa?dl=0

もし、あなたのセクションのメンバーシップについてご意見があれば、私宛にメールを送ってください。是非とも話し合しましょう。あなたのセクションの未来は、あなたの手の中にあるのです。

Dr Jackie Robinson

ジャッキー・ロビンソン

2020 年 ICD メンバーシップ委員会 委員長

電子メール: jjrobinson@iinet.net.au

本会における情報伝達

本会では、本会のリーダーシップ、国際本部、フェローの間で様々な出版物、電子メール、ウェブサイトを使い、効果的で正確な情報伝達が行えるよう注力しています。さらに本会は、非会員の歯科医師、他の医療従事者、公共メディアと定期的に交流しながら、本会の活動を振興し、本会の核心的な意義の理解を深めています。これにより、国際的な影響力が高まりつつあります。本会の交流事業は、国際交流理事／編集担当理事、国際理事会が所轄する国際交流委員会、本会の国際交流担当部署（国際交流担当理事、事務局長、事業運営担当理事兼渉外調整スペシャリスト担当理事）の責務とされ、お互いに協力して行われています。

ブランドの一貫性

ICD のブランドとメッセージを世界中に一貫して発信し続けることは、本会のフェロー全員にとって大切なことです。そのためには、本会のシンボルをきちんと正確に、そして定期的に使用しましょう。セクション、リージョン、個々のフェロー、本会と連携する他団体が、印刷物やデジタルコンテンツ、アパレル商品、本会が関わるイベント等に使用できるものは、本会が正式に認定するロゴやシンボルマークに限られています。その他の ICD 関連のロゴやシンボルマーク等は、すべて事前に本会事務局又は ICD 編集部の承認を得る必要があります。

本会のブランディングに関してはこちらで確認してください。

<http://www.icd.org/wp-content/uploads/Brand-IdentityPackage.pdf>

ICDのロゴマーク



ロゴマークの解説

本会のロゴマークは、世界的に認められている「ICD」の表記を石に彫られた金色の文字で表現し、背景から大胆に浮き上がって見えるように3Dの面取を施しています。緩やかな曲線が現代と伝統の融和を絶妙に表し、力強さと永続性を投影しています。

本会の持つ真の国際性は、緑の地球を模したアイコンで象徴しました。緑色は、国際的に健康と環境を意味する色とされています。この地球儀の意味するところは、「世界は一つであり、ICDは国家や大陸といった枠組みを支持しない団体である」ということです。さらに、地球儀は自転と活力を表す4本の経線で分割されていますが、これは本会が停滞した組織ではなく、新たなアイデアを歓迎し、世界中から新入会員を受け入れて常に躍動していることを暗示しています。

地球儀が発する星形の閃光は、慈善事業、教育的事業、人道的事業で私たちの惑星を温かく照らしている本会を象徴しているかのようです。

ロゴマークの使用方法

ICD のロゴマークは法的に商標登録されており、本会のアイデンティティとして重要なものです。本会と**良好な関係にある**フェローのみが、ICD のメンバーであることを示すために使用することができます。ロゴマークは、本会の信用を失墜させたり、誤解を招くような方法では使用できません。本会のレターヘッド、ニュースレター、情報案内、本会のイベントや式典、本会をプロモーションするノベルティグッズやアパレル等に使用することができます。また、ホームページ、名刺、電話帳を含む職務上での使用も可能ですが、教育に関する広告や個人の広告、その他商業的な利用には使用できません。**これらに関連するいかなる文書類もそこに含まれますので、注意してください。**ロゴマークに関するさまざまな取り決めは、ICDロゴ使用規定に記載されており www.icd.org/publications/ からダウンロードできます。



ICDキー

ICDキーは、私たちの価値観と伝統を思い起こさせるとても名誉あるエンブレムです。ICDのサーティフィケートや黄色と緑色のリボン、その他いろいろな場面において今後も常に目にする事になるろうかと思えます。

ICD ホームページ WWW.ICD.ORG



本会のホームページは、閲覧のしやすさ、情報検索のしやすさ、使い勝手の良いソフトウェアの装備、70以上の言語から選べる！言語選択機能に重点を置いて作っています。また、ICDのフェイスブックページと連動しているので、フェイスブックの投稿をリアルタイムで表示することができます。ホームページは、ICDと国際理事会に関する非常に優れた情報源ですので、閲覧する価値は十分にあります。ICDのニュース、重要事項、ICDオンラインプログラム、出版物、年間を通して行われているICDのイベント等の情報を随時更新しています。

メディアセンター

ホームページ上のメディアセンターは、ICDオンラインプログラムやウェビナー、本会の活動に関する情報、ニュース等のために多階層化された情報源です。また、本会のロゴマークを表示して宣伝したり、本会の核心的な意義を公表することでICDブランドの認知度を高める機能も果たしています。メディアセンターは、本会に関するあらゆる情報の主要な情報源なのです。

メディアセンターで利用できる情報源は次のとおりです。

- 世界中のICD活動のビデオ、スライドショー、その他の視覚的な媒体によるマルチメディアプレゼンテーション
- すべてのライブ及び録画されたICDオンラインウェビナーのアーカイブ
- ライブリンクを使用して世界中で実施している最新のICDニュース、イベントや活動
- ICDユーチューブチャンネル
- 一般の人々や報道機関向けの簡単紹介である「[The International College of Dentistry: Who We Are](#)」は、本会の歴史、目標、組織、活動についてわかりやすく報告しています。
- 世界規模の歯科団体、保健ジャーナリスト、歯科内外の関係者等、増えつつある対象者に対して実施するプレスリリースを年間を通じて作成し配布しています。

- 国際役員や国際理事が地元で配布するためのプレスリリースを要望すれば、世界本部はその要望に応じて修正したものを準備し送ります。
- 英語以外の言語でのプレスリリースも利用することができます。これまでに日本語、ポルトガル語、スペイン語でメッセージが発行されています。

電子メールでのメッセージ

全会員に電子メールを送信するシステムを開始してから、さまざまな様式ではあるものの、当会事務局から世界中のフェローに向けてこれまでに**38万**通以上のメールを配信してきました。

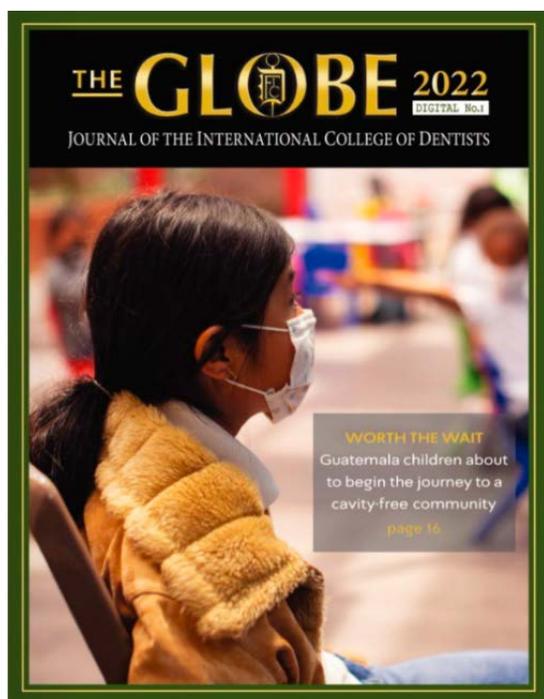
本会の電子ニュースレターである「**ザ・カレッジ・トゥデイ (TCT)**」は、メールアドレスを持つフェロー全員に隔年で配信しています。TCT は、新鮮な情報が満載されてとても有益なニュースレターで、双方向通信も可能です。各セクションの情報、会員の情報、ニュース、イベントなどに関する記事を集めています。毎号、ホームページ、Facebook の投稿、執行部の話題、会合報告など、本会についてのさらなる情報を見つけやすいように複数のリンクが貼られています。

T C T を補う目的で最近始められたのが *College Update* です。こちらは年間を通じて定期的に発行しています。*College Update* は主に、会長からのメッセージ、本会の選挙結果、大事なリーダーシップの事例、国際的なイベントやその他関連事項等をお知らせする電子メールです。

ザ・グローブ

ザ・グローブは、受賞歴のある雑誌で、年に2回、世界中のすべてのフェローに配本しています。電子版のザ・グローブには、内容を充実させるために多数のリンクが貼られています。これらのリンクには、「For the first time」やビデオ、フォトアルバム、より詳細に読み込むための文字情報／文書類が挙げられますが、さらに直接電子メールを送信する機能と問合せ先情報も含まれています。繰り返しになりますが、ザ・グローブは、私たちの世界的な活動を紹介する優れた情報源です。**ザ・グローブ**は PDF ファイルとしてダウンロードすることもできます。今年の**ザ・グローブ**は企業提携プログラムによる資金提供を一部に受けています。

ザ・グローブのバックナンバーは、運営センター：office@icd.orgにて複写版の注文ができます



2022 Digital Globe, issue #1: https://icd.org/wp-content/uploads/flipbook2022/index.html?page=1&utm_campaign=icd&utm_medium=email&utm_source=iContact

2022 Digital Globe, issue #2: <https://icd.org/wp-content/uploads/flipbook2022v2/index.html?page=1>

フェイスブック

ICDのフェイスブックページでは、世界中で行われている活動の様子をリアルタイムに更新しています。世界中のセクションやリージョンに関する最新情報を伝える効果があり、世界的に普及しています。ソーシャルメディアは、一般の人々に対して、他の方法ではできないようなアピールも可能です。フェイスブックは、本会の人道的なプロジェクトやイベントやその成果を示す写真雑誌のようなものです。世界本部が管理していますが、本会のイベントや事業や話題を掲載したい場合は、画像や動画を social@icd.org まで送ってください。



International College of Dentists

@InternationalCollegeofDentists · ★ 4.6 17 reviews ⓘ · Nonprofit organization

ユーチューブ

ICDのユーチューブチャンネルは、歴代の会長、役員、イベント、セクションの様子、式典の模様、そしてすべてのICDオンラインウェビナーや教育プログラムといった様々な映像コンテンツをまとめたものです。

You Tube https://www.youtube.com/channel/UCwr_zF6aPQsAJCe2iME-Dtg

広 報

ICDでは広報のための資料を用意しています。資料には「ICDとは何か」「その目標と使命は何か」といった一般的な解説を載せています。例えば、一般市民、メディア関係者、その他の歯科関係機関や保健機関と折衝するときこれらの資料が必要な場合は、代表者からの請求で入手し、活用することをお勧めします。広報声明はすべて、http://www.icd.org/wp-content/uploads/Who-We-Are_Feb2021.pdf からダウンロードすることができます。

本会への広報に関する提案や発案は、[編集担当理事のシドニー](#)までお寄せください。

企業とのパートナーシップ

世界 138 カ国に存在する本会の 12,000 人以上の会員は、歯科分野における専門職域集団です。研究・教育・臨床の各分野でリーダー的な存在であり、オピニオンメーカーでもあります。本会には、まだ十分なサービスを受けていない地域やさらなる貢献ができる地域に活躍の場を拡大するプログラムがあります。今後、成長・発展が見込める地域としては、中国、インド、東ヨーロッパ、アフリカ、東南アジア、中央アメリカなどがあり、これらの地域では経済活動の急速な拡大が見込め、大規模な潜在市場と考えられます。

I C D は、歯科医療分野で評価の高い国際企業との共生パートナーシップを確立しています。このパートナーシップの目的は、本会の目標達成をサポートすることで本会の世界的な認知度の拡大し、交流を保ちながら地域の教育的・人道的プログラムを支援することです。

現在のパートナー企業：



戦略的パートナーシップ

協力を通じた口腔保健の進展

I C D 国際本部は、他の重要な国際的ヘルスケア組織と協力関係にあります。私たちの目標は、口腔保健と歯科教育の世界的な進展に有意義な役割を果たすために協力することです。以下は、私たちの関係がどのような状況にあるかの最新情報です。：

- **国境を越えた口腔保健連合(AOHAB)**– 本会の国際本部はこの数年来、この組織の準会員であり、作業セッションにも代表を派遣しています。焦点は、政府間で良好な関係にない国家間における歯学教育機関の協力機会を増やすことです。この点の重要性が年々拡大しているため、I C D が今後この組織にどのように参画すべきかを現在検討中です。
- **疾病予防管理センター(CDC)**– 本会の国際本部はCDCと正式な覚書を取り交わしており、本会はCDCの「抗生物質及び抗微生物薬耐性プログラム」の国際的なパートナーになり得ます。本会の「抗菌剤耐性に関する講習プログラム」はCDCの科学的知見がベースに使用されているからです。
- **Cigna Dental Health, Inc.**– 本会の国際本部は、シグナ社（民間保険会社）との覚書に署名しました。この覚書では、シグナ社は、本会のホームページ上に掲載している「抗菌剤耐性に関する講習プログラム」の情報を 10,000 以上の歯科プロバイダーのネットワークに誠意をもって共有することができます。
- **FDI 世界歯科連盟**– 本会の国際本部は、10 年以上 F D I の準会員です。仲介役（現在はドヴ・シドニー先生）を年次総会へ派遣したり、書簡のやり取りや役員間の個人的な連絡を通じて関係を保ったりすることで私たちの利益を代表しています。
- **世界保健機関(WHO)**– 欧州のセクションVのフェローは、国連の保健プログラム部門であるWHOが相対的な主導で使用する健康調査プラットフォームを開発し、財政的に支援しました。それに加えて本会は、WHOから得た抗生物質及び抗微生物薬耐性に関する重要な情報を世界中のフェローに配信しています。
- **世界経済フォーラム**– 本会の国際本部は、毎年、国連総会の会期中にニューヨーク市で開催される世界経済フォーラムに代表を派遣するよう依頼されています。他の健康機関と共に、本会は口腔保健を国連の政治宣言に含める取組に参加し、口腔保健の世界的な地位向上を目指しています。
- **国連経済社会局(ECOSOC)**– 本会の国際本部は、国連経済社会局（E C O S O C）のNGO（非政府団体）部門の特殊諮問資格を保持しています。諮問資格とは、本会が国連のこの部門に対して口腔保健及び関連する話題について直接提言できることは勿論のこと、口腔保健や世界中の経済社会問題に関する世界会議や協議会に招待される立場であることを意味します。過去一年間にわたり本会の国際本部と国連経済社会局双方のスタッフは、この資格をより深く理解し、本会の使命を果たすためには如何にこれを最大限に活用できるかを議論し会合してきました。

企業の社会的責任(CSR)

産業界は、世界的に見ても企業の社会的責任（CSR）に対して益々取り組むようになってきました。国連はCSRを、「事業運営やステークホルダーとの関わりの中で、企業が社会的及び環境的な配慮を統合する経営概念である。CSRとは、一般的に、企業が経済的、環境的、そして社会的な要請のバランスを保ちつつ、株主とステークホルダーの期待に応えるための手段として理解されている。その意味で、経営戦略上の概念となりうるCSRと、チャリティやスポンサーシップや慈善事業とは区別することが重要である。後者は貧困削減に貢献し、企業の評価を直に向上させ、ブランド力を強化することに直結するが、CSRのコンセプトは明らかにそれ以上のものである。CSRへの対応は、開発途上国の企業やステークホルダーにとって、競争力を損なうことなく社会的・環境的基準を満たすのに役立つ有効なツールであることが証明されている。」と定義しています。

5分で分かるCSRの歴史（下の画像をクリックすると動画が再生されます。） <https://youtu.be/KfKF44ZGPuQ>



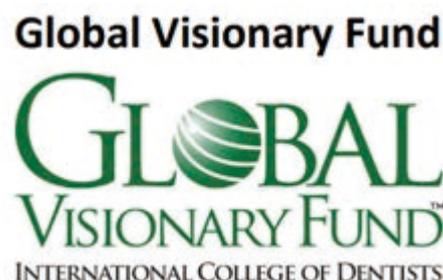
ICD が理想的なグローバルパートナーである理由は以下のとおりです：

- ✓ 高い評判
- ✓ グローバルリーダーとして認知されていること
- ✓ 100年以上にわたる一貫性
- ✓ 透明性
- ✓ 誠実な組織であること
- ✓ 信頼性があること
- ✓ CSRパートナーとしての実績

国際本部の組織展開チームは、本会で国際的な企業とのCSRにおけるコラボを検討する権限を与えられた唯一の部署です。CSRの概念が如何に将来の企業や戦略的パートナーシップに関与するのか、また、如何に国際本部の発展に最大の効果をもたらすのかといった課題について、国際本部は広範な聞き取り調査を行いました。国際本部が本会を代表して行なっている発展努力の一環として、CSR戦略のための緻密な方法論を反映したツールの制作やメッセージの配信があります。国際本部が行なっている発展努力の拡大や改善に対して積極的に関与し、関心を寄せてくれる献身的なリーダーやフェローのために国際本部がツールを率先して用いることで、各セクションは大いに利益を得ることができるでしょう。

グローバル・ビジョナリー基金

ICD グローバル・ビジョナリー基金(GVF)とは、国際理事会の慈善事業部門です。資金調達やプログラムへの取組により、恵まれない人々への口腔ケアや、必要とされている場所での教育プログラムといった社会的使命を果たしています。この基金は2013年に設立され、慈善団体としての税制上の優遇(米国内国歳入庁501c3)が認められています。当初は、私たちの価値観を共有する企業からの寄付を受け入れるために設立されましたが、誠意ある個人からの寄付やサポートも集まるようになりました。今ではこの基金を通じて、世界中の膨大な歯科医療ニーズに応えることが可能になりました。また、賛同してくれる財団や慈善団体、パートナーらと協力し、人類の口腔衛生を最大限に向上させるための奉仕をすることで、本会はその影響力を高めています。この基金は、国際理事会及び定款によって運営されており、国際理事会が当基金とその活動の責任を負っています。



ボランティア活動 — ICDのボランティアには自身の時間を費やすこととなりますが、多くの場合、それだけでは済みません。人道的なケアを提供するためには、材料、機器、会場、交通手段、医薬品など、実際のコストがかかりますが、グローバル・ビジョナリー基金はその問題を解決しています。計画に基づく寄付なので、寄付する側は貴重な資産の留保が可能です。

未来を守る — GVFは、ICDがその使命を果たし、将来の世代にも継続するための財務基盤です。

チームによる資金調達 — GVFは、個人と協力団体からの寄付によって賄われ、多くのケースで法律(米国内国歳入庁501c3)により税額控除が認められています。

- **現金寄付** — 将来の贈与を予約したり無償贈与したりするには、さまざまな方法があります。また、寄付者の名前を冠した寄付や、寄付者がその用途を指定することも可能です。寄付は、現在及び将来のGVFの活動のためには重要な資金源となっています。
- **ミッシュ・レガシー基金**は、GVFへの寄付の一例です。
- **計画的な寄付** — 専門家による計画支援により、個人的な資産計画や慈善活動の目標に沿った寄付を行うことができます。GVFもしくはご自身のファイナンシャル・アドバイザーに、広く受け入れられている資産・遺産計画の方法について相談してください。



寄付や寄付の契約予約をお願いします! www.icd.org/global-visionaryfund/のサイトからクレジットカードでオンライン決済をされるか**国際本部**まで連絡してください。

.....

* 訳者注:GVFは、理事会、人事部及び助成金審査委員会により運営されています。

グローバル・ビジョナリー基金プログラム

ミッシュ・レガシー基金

会員のカール・ミッシュ先生は、数え切れないほどの歯科医師とその患者の生活を向上させました。彼の英断、ビジョン、技術により、インプラントは世界の歯科診療の主流になることができました。



ミッシュ先生は、ICD グローバル・ビジョナリー基金が管理する **ミッシュ・レガシー基金 (MLE)** (MLE) を、彼を崇拝するたくさんの人々と歯科医療従事者に遺しました。MLE へ寄付することで、ICD ボランティアによる歯科教育や人道的なケアの取組を支援し、歯科医療従事者と一般の人々に貢献したいというミッシュ先生の遺志を確実に後世に継ぐことができます。ミッシュ先生のご遺族は寛大なことに、ミッシュ先生に代わってこの基金への記念寄付を指定してくださいました。皆様からのご支援は、カール・ミッシュ先生に敬意を表するとともに、彼の名を冠したこの基金の持続と成長を約束するものです。現在、MLE は ICD の「抗生物質についての知識獲得プログラム (Get Smart About Antibiotics Program)」と、ICD-WUDAA (ワシントン大学歯学部同窓会) 奨学金プログラムによる歯学生への奨学金 (2,500 ドル) を支援しています。MLE への寄付は、以下のリンクからお願いします。グローバル・ビジョナリー基金を通じて私たちの使命を一緒に共有しましょう。 www.icd.org/misch-legacy-endowment/

GVF・ヘンリー・シャイン・ケア・グラント・プログラム

このプログラムは、ICD グローバル・ビジョナリー基金とヘンリー・シャイン・ケアの協力により、世界中の人道的な口腔ケア事業に必要な歯科材料を助成するという



ものです。慈善歯科治療プロジェクトで使用する歯科材料や消耗品の申請は1回に限られます。申請書は審査ののち承認されれば、機器や材料の助成を受けることが認められ、追ってヘンリー・シャイン社から申請者に届けられます。申請者は、希望する材料の価格と数量を示す具体的なリストを提出し、それらをどのように効果的に使用するかを説明する必要があります。助成は時価5,000米ドルまでの物資の形で提供され、物資が必要とされる日の少なくとも90日前までに申請書を提出する必要があります。持続的な口腔衛生の改善に繋がる事業は、特に優遇されます。助成申請に関する詳細は、以下のリンクから確認してください。

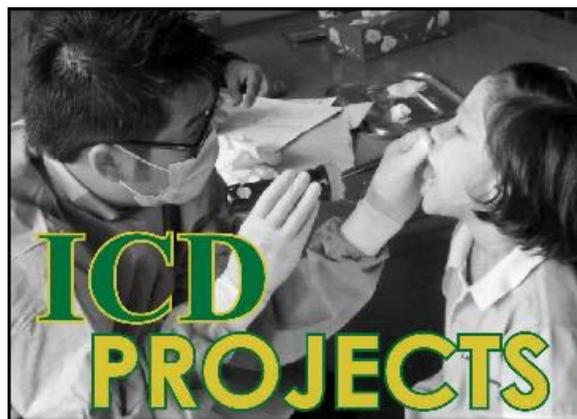
<https://www.icd.org/wp-content/uploads/GVF-HSC-Grant-Application-1.pdf>

GVF・人道的現金支援プログラム

開発途上の地域で人道的なケアによる口腔衛生活動を適正に継続する目的で、現金での支援を1回に限り申請することができます。現金での支援の申請に関しては、office@icd.org までご連絡ください。

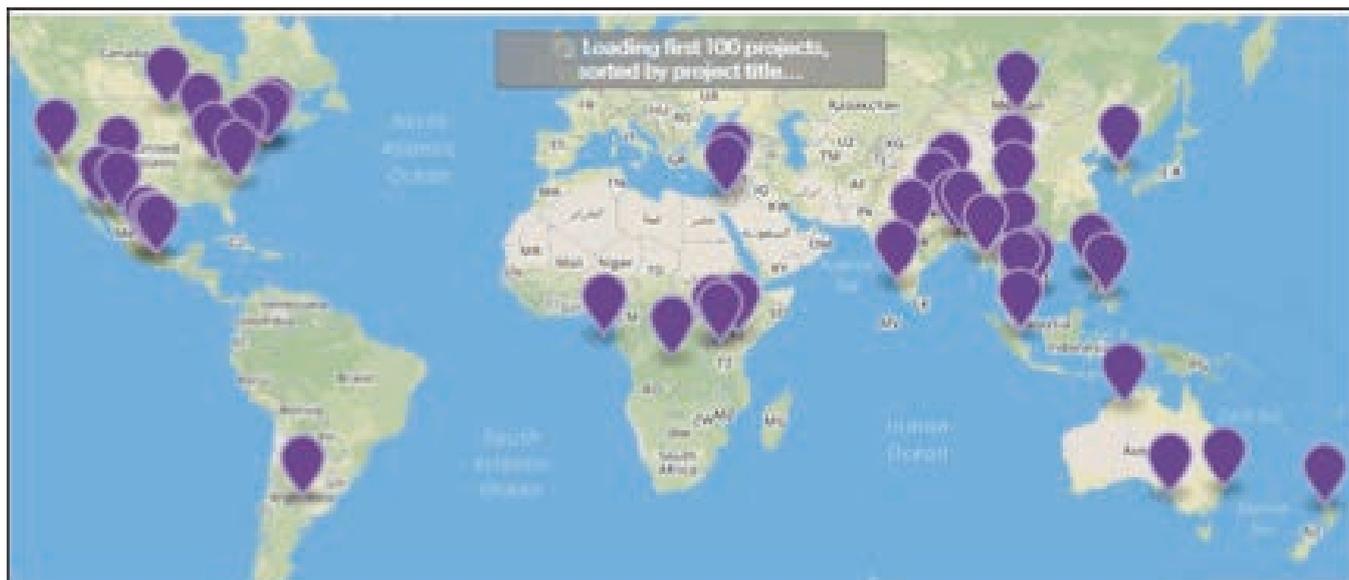
グローバル事業レジストリ

本会の多くのセクション、リージョン、そして個々のフェローは、人道的な事業を支援しています。世界各地で行われているこれらの事業は、私たちの存在を世間や業界に示す、目に見える証となっています。ICDグローバル事業レジストリは、本会フェローによる人道的、教育的、公衆衛生的、そしてリーダーシップ的な事業やプログラムの世界的なデータベースです。本会のホームページで公開されており、相方向通信が可能な地図の様式を採用しています（下図参照）。世界中のICDフェロー、人道主義者、教育者、ボランティア、指導者がアルファベット順に掲載された名簿も備えています。



ICDグローバル事業レジストリの目的は、フェローや歯科医師が世界中で本会の事業を共有し、ボランティアの機会を得ることで、特に恵まれない地域の口腔と全身の健康、そしてQOLの持続と改善を促すための重要な情報源として機能することです。

ICD グローバル事業レジストリ : <http://www.icd.org/projects-2/>



あなたの事業も是非登録してください！—本会では、適切な事業であればすべてレジストリに登録しています。本会にはあなたのサポートが必要です。すべての事業を本会の事務局が把握しているわけではないので、あなたが携わっている事業について教えてください。レジストリへの登録基準について不明な点は、以下の事業指針を参照してください。事業レジストリの訂正、更新、問合せは、本部事務局までお願いします。

ICD事業の登録・訂正は、こちらのリンクからお願いします。

<http://www.icd.org/icd-rograms-and-projects/>

ICD事業指針

フェローによる ICD の名称を使用した事業(ICD事業)の指針

国際歯科学士会（ICD）は、フェローによる利他的行為を奨励しています。会員は、ICD の名の下で教育的で人道的な活動をすることができますが、その場合、この事業指針に則って実施しなければなりません。

管 轄

本会の事業は、本会の適切なセクション、リージョン、ディストリクトの監督下で組織・運営されるものとします。また、国際理事会の認可を受けることもできます。事業が単独の会員によるものであったり、役員に認知されていない場合は、メンターやアドバイザーを指名する必要があります。

報 告

事業の説明を必ず事前に行ってください。計画の範囲、期間、進め方、場所、目標、財務上考慮すべき事項など、基本的な説明をお願いします。また、事業完了後は、事業結果の報告書を提出してください。1年以上続く継続的な取組については、活動と結果の年次報告書を提出するものとします。グローバル事業レジストリは、本部事務局が管理します。このレジストリには、すべての事業が記録されなければなりません。

組織に関する事項

ICDの会員が、業務、税制、法律上の目的でICD事業を政府機関に登録しようとする場合は、事前にその旨を報告してください。これに関連して、定款や運営規則などの独自の内部文書を作成する場合は、その複本を本部事務局に事前に提出しなければなりません。その際、申請書、登録書、許可書の複本も提出してください。

構 想

ICDの人道的な事業は、人々への長期的な配慮を反映した持続可能なものでなければなりません。これには、予防教育や継続的なケアのための支援などが含まれます。

資金調達

ICD事業が独自に資金調達を行う場合は、その趣旨と方法を事前に報告してください。関係するセクションやリージョンの枠を超えた個人・法人による資金調達、特に国際的な法人による場合は、本部事務局を通じた調整が必要です。**ICD 事業のために、ICD グローバル・ビジョナリー基金 (P.21-22) への助成を申請することをお勧めします。**

連 携

ICD以外の組織と継続的に連携する場合は、その目的、意図、責任の所在、時間枠、関係者が期待することなどを報告書に記載する必要があります。他の組織との連携は、当事者の自発的な参画と誠意に基づいてください。法的拘束力のある契約は避けてください。国際的な組織が関与する連携は、本部事務局を通じた調整が必要です。

形式の統一

交流活動と啓蒙活動に関する事業では、公式に認められた形式で実施してください。これには、事業用レターヘッド、ニュースレター、発表文、ホームページ、ソーシャルメディアへの投稿なども含まれます。ICDの公式ロゴマーク、承認されたシンボル、その他本会のグラフィックデザイン要素に限り使用することができます。

ICDグローバル教育プログラム

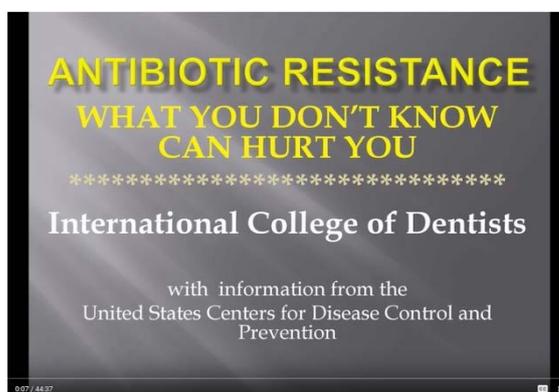
抗菌剤耐性に関する講習プログラム

<http://www.icd.org/understanding-antimicrobial-resistance/>

目的：世界中の公衆衛生機関にとって、抗生物質と抗菌剤耐性の問題は深刻です。かつて感染症は抗生物質で容易に治療されていましたが、現在はより危険性が高まり、治療の不良、症状の長期化、さらには死亡を招く結果を引き起こしています。本会は、米国疾病予防管理センター（CDC）の「抗生物質への意識喚起（Be Antibiotics Aware）」プログラムとパートナーシップを結びました。これは、抗生物質と抗菌剤耐性及び適切な抗生物質の使用に関する重要な情報を、世界中のフェローに広めることを使命としています。このプログラムは、米国のフェローであるジョン・タルナー先生、クリスティン・ブノワ先生、サム・ツェッチケンバウム先生が、CDC、世界保健機関（WHO）、その他の専門グループや個人と協力して維持管理しています。

方法：

- フェローは、教育プログラムやセッションのために、ICDの抗生物質耐性（AR）／抗菌剤耐性（AMR）に関するパワーポイントのデータ、印刷教材、デジタル教材、録画ビデオ／ウェビナーの使用を申請することができます。ICD AR／AMRのパワポデータ等に興味がある場合は、[事務局](#)までご連絡ください。
- また、このトピックに関する情報を聴衆に対面又は遠隔で伝えるプロの講演者を本会から手配することもできます。
- フェローは、45分間のICD抗生物質耐性ビデオを視聴し、ビデオ後のテストを完了することで、**1時間の継続教育必要履修単位（CE credit）**を取得することができます。ビデオの視聴とテストへは、以下のリンクからアクセスしてください。<http://www.icd.org/antibiotics-video/>



ICD・デンタル・セーフティ・プログラム」

<http://www.icd.org/dental-safety-program/>

目的：ICDの「デンタル・セーフティ・プログラム」（DSP）は、国際理事会によって採択された国際的な継続性のある教育活動です。このプログラムは、感染対策と医療安全の基準を満たすために、口腔衛生の専門職／職員が知識の向上や取組の改善、そしてより安全な臨床を実践できるよう制度設計されています。この教育活動とキャパシティを拡大する活動の重きは、発展途上国に向けられています。その目的は、歯科診療を通して、患者から患者へ、口腔保健医療従事者から患者へ、患者から口腔保健医療従事者への感染症拡大を阻止することです。

ごく最近では、DSPは新型コロナウイルス感染症（COVID-19）と歯科に関連する重要で多様な情報源を整備しました。ICDにもっと情報を提供してほしい、教育プログラムを作ってほしい、という歯科医療安全に関するトピックスがありましたら、ぜひ[国際本部事務局](#)に提案してください。

ICD-WUDAA 奨学金プログラム

<http://www.icd.org/wudaa-scholarship/>

目的:ICD-WUDAA 奨学金プログラムでは、歯学生に毎年奨学金を支給しています。このプログラムでは、個々の学生のためにできる限りのことを行い、歯学部生の深刻な借金問題に対する意識を高めるとともに、高額な歯学教育費と卒業後のキャリア選択に及ぼす悪影響への懸念を表明しています。

関係する協力団体:

国際歯科学士会 (ICD)

ワシントン大学歯学同窓会 (WUDAA)

ICD・セクションI USA財団 (USAF)

ICD・グローバル・ビジョナリー基金 (GVF)

ICD・レオン・アロンソン基金

方法:WUDAAは、1990年代にワシントン大学歯学部(セントルイス)が閉鎖された数年後に、歯学生対象の奨学金制度を設立しました。一方、ICDとWUDAAは、歯学生と質の高い歯学教育を支援するプログラムを確立しており、既存のWUDAA奨学金プログラムの継続と将来の発展に協力することで合意しています。

ICDの会員、ワシントン大学歯学部卒業生や歯科学校(歯学部)教職員は、応募の意思がある学生のために推薦状や推薦文を提出することができます。応募者は、奨学金が経済的に必要であることを示すと同時に、ADA/CODAによって承認された米国内の歯科大学(歯学部)に在籍し、学費を納入していることが条件です。留学生も対象となります。

連携:

- GVFは、奨学金の資金調達と運営に必要な管理・プロモーションを支援します。
- USAFは、応募者の審査と奨学生の最終選考を行います。
- WUDAAは、プログラムの運営、継続的な財務支援、資金調達に携わります。
- レオン・アロンソン基金は、継続的な資金援助を行います。

応募種類はこちらからダウンロードしてください。

<http://www.icd.org/wp-content/uploads/ICD-WUDAA-Scholarship-Application-1.pdf> 2023年6月1日締切

成長、発展、連携

ICDの成功に向けたキー・コンセプト

ICD の成長(フェローの増員)

本会の成長は、ICDの役員にとって重要な責任事項です。国際本部年会費を負担する**現役の**会員数を毎年増やすことは、非常に重要です。毎年、多くのフェローが終身会員の資格を取得しますが、終身会員は会費の負担が免除されていますので、本会の財務を安定させるためには、この収入減を補うことが必要です。直接的にも間接的にもICDの影響力というものは、組織の規模に直結しています。本会は元々、排他的な組織になることを意図していません。フェローの資格がある歯科医師には、是非とも本会への加入を勧めるべきであるということです。

ICD の発展(ICDの世界的な拡がり)

真に国際的な組織であるためには、ほとんど、あるいはまったく影響力が及ばない地域にまで活動の幅を広げる努力を続けなければなりません。国際理事会は、世界の発展途上国に新しいリージョンを作る必要がありますし、セクションやリージョンにとっての発展とは、その国の代表的ではない地域にも新しいディストリクトを設置することです。ICDの影響力が及ばない地域では、将来に向けて種を植えるためにも、資格があると認められる歯科医師に対してフェローシップを与える特権が本会事務局長にあります。本会の役員には、現在影響力を持たない地域にも組織を拡大するため、あらゆるチャンスを追いかける必要があります。